



先週の 11 日(水)、第 1 学年全員が大垣北高校の SGH 講演会を県のテレビ会議システムを利用して本校の体育館で聴講しました。講師は小泉内閣時代の閣僚として外務大臣、環境大臣の要職を歴任した川口順子(かわぐち よりこ)氏で、今回はその講演の概要と生徒の感想をお届けします。

◇ 講演の概要：演題 「次代のグローバル・リーダーとなるために」

- 高校時代のアメリカ留学で実感したこと、身に付いたこと
 - ①世界と自分とのつながり ②家庭のしつけの大切さ ③勉強よりも大切なこと(社会への貢献)があること ④コミュニケーション能力 ⑤日本の良さ ⑥自分への自信
- グローバル社会で成功している人の共通点
 - ①活躍の舞台に国境がない ②自分だけの武器を身に付けている ③思いを伝えられるコミュニケーション力を身に付けている
- グローバル・リーダーに求められる能力
 - ①ツールとして語学力 ②違いを受け入れられる力 ③論理的思考力
- これからの高校生活で考えてもらいたいこと
 - ①なぜグローバル・リーダーの育成に取り組む必要があるのか
 - ②これからの世界や日本が今後どのように変わっていくのか
- 生徒へのメッセージ：生き残ることができるのは変化に強い人間である！

◇ 生徒の感想

⇒ 90分の講演中、川口氏の講演を熱心に聴いて「SGHノート」にメモを取っていました。その熱い思いや決意の一部を紹介します！

- ・外国語はツールと言われホッとした。より一層外国へ行く興味が湧いた。
- ・日本や世界で活躍できる人間になるため、勉強だけでなく、社会に尽くすことができる人になりたいと思った。
- ・自分の主張をどうやって伝えていくかが大切だと思った。
- ・自分のことを伝えたり逆に相手と自分との違いを受け入れたりすることが大切だということを知った。
- ・自分の意志を持って自分の人生を自分の意志で進んでいきたいと思った。
- ・留学して得るものは英語力だけでないことが分かった。
- ・世界という広い舞台で自分の良さを伝えていけるようになりたいと思った。
- ・出会いや興味を大切にそれが何かにつながっていくように自分から動いていきたい。
- ・私は人と違うと心配になり人に合わせようとするところがあるが、人と違うから面白いのだと思った。
- ・自分でいろいろなことをやってみないと発展できないと思った。
- ・相手の考え方の違いが面白いと捉えられるような人になりたい。
- ・高校生の今だからこそできることにどんどん挑戦して世界で戦えるだけの価値観を身に付けていきたい。
- ・自分を見つめ直す、あるいは新たな自分を見つけるチャンスが異文化との触れ合いだと思った。
- ・外国でも活躍している人は違いを受け入れることができる人だと分かったので、そうなれたらいいなと思った。